

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	2004/7/8	保健所	保健予防課	庶務・健康診査担当	-	-	-	2保予01	5

業務名称	夜間休日応急診療所業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	市民が安心して暮らせるようにするため、夜間及び休日における医療を確保する。	二次医療機関数	4病院	4病院	5.5	108,137
担当業務目的	夜間、国民の休日及び年末年始における市民の初期救急医療を確保する。	診療所利用者からのクレーム件数	0	0	5.5	108,137

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 夜間休日応急診療所の円滑な運営				69,544	(1)診療科目の見直しおよび診療所の名称変更の検討 平成16年度は、夜間が小児科と耳鼻咽喉科、休日が内科と小児科、在宅診療として眼科を引き続き実施するが、内科の必要性について運営委員会において協議する。なお、診療科目の見直しに併せ、診療所の名称についても検討する。 また、在宅当番医制病院運営費補助金が一般財源化されたことに伴い、在宅診療のあり方についても協議する。 (2)成人病医療センターの改築 秋田県成人病医療センターの改築が計画されており、その基本設計のため、今後の診療所の設置場所について検討することが必要となっている。
夜間・休日のカバー率	100%	100%			
診療科目や診療機器の整備について運営委員会で協議する 医療従事者を確保するため秋田市医師会に業務委託する 診療所使用料や診療報酬を適正に請求し収入を確保する					
02 市民への診療所の周知				26	
乳幼児健診時アンケートによる認知度	94.5% (H14)	100%			
広報あきたやホームページによるPRを充実させる 医療機関等と連携しPRする					
03 院外薬局の円滑な運営を支援				12,500	(3)秋田中央薬剤師会営業局事業費補助金 診療所の処方箋を応需する薬局の開設について、秋田中央薬剤師会と協定を交わし、その事業を円滑に推進するため予算の範囲内で補助しているが、補助対象経費の見直しについて検討し、薬剤師会と協議する必要がある。
薬局の夜間・休日のカバー率	100%	100%			
院外薬局の円滑な運営を支援する					
04 受診者の安全対策の確立				116	
医療事故の件数	0件	0件			
事故処理委員会の設置 医療事故補償保険への加入					

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			実績(H15)	目標(H17)	事業費 (千円)	備考欄
活動における指標						
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)						
05 二次医療機関への支援					23,957	(4)病院群輪番制病院運営費補助金 二次医療機関である市立病院、中通病院、組合病院の3病院に各108日、計324日分を補助する。 (41日分は三次医療機関である赤十字病院がカバーしている) (5)小児救急医療支援事業費補助金 市立病院、組合病院の休診土曜日における小児救急医療を確保するため、市立28日分、組合24日分、計52日分の事業費を補助する。
二次医療機関の年間のカバー率		100%	100%			
病院群輪番制病院運営費補助金の交付 小児救急医療支援事業費補助金の交付						
99 庶務業務					1,994	
適正処理率		100%	100%			